

# CASBEE<sup>®</sup> - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

| 1-1 建物概要 |                        | 1-2 外観 |                 |
|----------|------------------------|--------|-----------------|
| 建物名称     | ダイハツ工業株式会社 京都工場        | 階数     | 地上5F            |
| 建設地      | 京都府乙訓郡大山崎町字下植野小学北堀池1番地 | 構造     | S造              |
| 用途地域     | 工業地域、法第22条地域           | 平均居住人員 | 505 人           |
| 地域区分     | 5地域                    | 年間使用時間 | 3,960 時間/年(想定値) |
| 建物用途     | 工場                     | 評価の段階  | 実施設計段階評価        |
| 竣工年      | 2023年8月 予定             | 評価の実施日 | 2019年4月22日      |
| 敷地面積     | 173,183 m <sup>2</sup> | 作成者    | 株式会社大林組 児玉 克史   |
| 建築面積     | 21,960 m <sup>2</sup>  | 確認日    | 2019年4月24日      |
| 延床面積     | 46,426 m <sup>2</sup>  | 確認者    | 株式会社大林組 児玉 克史   |



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 144%

③上記+②以外の 99%

④上記+ 99%

92 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

**LR のスコア = 2.9**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

| 3 設計上の配慮事項   |   |
|--------------|---|
| 総合           | 建物内にはLED設備等高効率機器を採用することで、省エネルギー性に優れ、環境負荷を低く抑えられる建築物となるように配慮した。                                |
| その他          | 特に無し  |
| Q1 室内環境      | 評価対象外   |
| Q2 サービス性能    | 配管部材は耐久性の高い部材を選定し、性能が長期間保たれるように配慮した。また壁長さ比率を低く設定し、高い階高を確保することで、将来フレキシブルにプラン変更等に対応が出来るように計画した。 |
| Q3 室外環境(敷地内) | 周囲に開けた建物となるように、隣地とは極力距離を設ける配置計画とした。   |
| LR1 エネルギー    | 建物内設備にはLED照明等高効率設備を採用することで、建物から発生するエネルギー量の低減に努めた。   |
| LR2 資源・マテリアル | 建築部材は特定調達品目及びエコマーク商品を積極的に採用し、節水にも配慮した設備を取り入れることで、環境負荷の低減を図った。                                 |
| LR3 敷地外環境    | 燃焼機器を採用しない計画とすることで、地球温暖化防止に寄与した。  |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される